

朝晩がめっきり寒くなり、上着が必要な季節となりました。また、新型コロナウイルスの影響で、今年も地方祭を楽しむこともなく、とても寂しい10月が過ぎようとしています。

さて、今月末からは日本全国で「読書週間」が始まります。本校においては、11月に「朝の読書週間」を実施予定です。図書館では、先月号で紹介した新刊本がたくさん開架中です。朝読書で読む本を、是非とも図書室に借りに来てください。今月は、厳選した新刊本を紹介します。

Q) みなさん読書週間をご存知ですか？



10月27日(水)～11月9日(火)は 読書週間です。

第75回目を迎える今回のテーマは、
「最後の頁を閉じた 違う私がいた」です。



読書週間の歴史

終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。よりいっそうの盛りあがり、期待いたします。

公益社団法人 読書推進運動協議会 HPより

新刊本より特におすすめ本を紹介します！

『宮崎駿とジブリ美術館』 スタジオジブリ編 岩波書店



修学旅行で訪れたかもしれない、ジブリ美術館。ここには宮崎駿監督のこんな美術館をつくりたい、という長年の想いが数多くちりばめられています。まず、二分冊のうち『美術館をつくる』には、子どもたちを魅了する入り口から始まり、建物の内装、映像展示室、常設展示、カフェなどがどのように考えられ、つくられたのかが、数多くのイメージボードとスケッチとともに描かれています。『企画展示をつくる』では宮崎監督が深くかかわった 13 のテーマの実現にむけての舞台裏を、膨大な絵とメモから明らかにされています。そして、何よりも、ページを捲るたびに、美しい挿絵に魅了され、何時間でも眺めていたい本です。

『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』 宮田 律著 平凡社



武器ではなく
命の水をおくりたい
中村哲医師の生き方



本のタイトルは、アフガニスタンで農地をつくるために砂漠に水を引く用水路を建設した中村医師の活動を紹介したドキュメンタリー番組からとられたものです。中村医師は、2019年12月にアフガニスタン東部のジャララバードで何者かによって殺害されました。30年以上にわたって中村医師がアフガニスタンの人々のために尽くした活動—それは、世界に示した平和主義であり、アフガニスタンの人々は中村医師をけっして忘れないでしょう。その理由を本書は教えてくれます。読書感想画コンクール課題図書です。

5分シリーズ朝読セット エブリスタ著 河出書房新社

- 「5分後に禁断のラスト」
- 「5分後に笑えるドンデン返し」
- 「5分後に恋するラスト」
- 「5分後に切ないラスト」
- 「5分後に皮肉なドンデン返し」
- 「5分後に癒されるラスト」



(お知らせ)

朝の読書週間が始まります。

期間は11月15日 {月} ~11月19日 (金) です。登校後は、静かに読書をしましょう。毎日の10分間読書の習慣を1年間続けると、その総時間はどのくらいになるでしょう。読書は、みなさんを知への世界へといざなってくれます。